

5-4 令和3年度公民館の概要・事業報告

中央公民館

◇ 運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇ 重点施策

- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇ 重点事業

- 1 文化推進事業
- 2 学習支援事業
- 3 教養講座

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6 9 1 8 番地 1

TEL 048-752-3080

FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp



職 員	館 長	矢 野 仁 史
	〈管理担当〉	
	主 幹	川 口 英 典
	主 査	篠 原 将 典



主 任 関 根 敦 夫
主 事 伊 東 克 樹
フルタイム 石 下 勉
フルタイム 三 橋 美 穂

<事業担当>

主 幹（兼務） 田 中 正 顕
主 査（兼務） 城 田 徹
主 任（兼務） 内 海 美智広（12月から）
主 任（兼務） 高 橋 由 典
主 任（兼務） 大 澤 恵 太
フルタイム（兼務） 原 昌 美（2月まで）

（環境整備・情報提供・会議・研修・支援事業など）

No	事業名	対象館	内 容
1	公民館施設・設備の整備（主なもの） ※ 簡単な修繕については、各地区公民館の職員で編成する修繕班で対応している。	中央公民館	・中央監視装置交換修繕 ・揚水ポンプ2基交換修繕 ・トイレ洗面台自動水栓交換修繕（15館） ・防犯カメラ設備交換修繕（7館） ・事務室電話機および交換機交換修繕 ・泡消火用ポンプ交換修繕
		粕壁南公民館	・2階会議室冷暖房設備修繕
		内牧地区公民館	・2階ホール冷暖房設備修繕 ・消火栓補給水槽給水ポンプ取替修繕
		内牧南公民館	・大会議室倉庫雨漏り修繕
		豊春地区公民館	・和室・研修室空調配管冷媒漏れ修繕
		豊春第二公民館	・料理室・会議室・廊下床張替修繕
		武里地区公民館	・1階エントランス自動ドア修繕 ・駐車場出入口バリカー修繕
		武里東公民館	・玄関階段手摺取付け修繕
		幸松地区公民館	・体育室照明器具交換修繕 ・研修室屋根雨漏り修繕
		豊野地区公民館	・正面入口門扉塗り替え修繕 ・外灯ランプ交換修繕
		藤塚公民館	・2階講習室低圧開閉器交換修繕 ・外灯ランプ交換修繕
		武里南地区公民館	・大会議室天井雨漏り緊急修繕
		武里大枝公民館	・屋上非常用発電機交換修繕
		庄和市民センター（正風館）	・非常用発電機交換修繕
		庄和南公民館	・体育館倉庫、学習室2、2階廊下天井雨漏り修繕

№	事業名	内 容
2	公民館学習情報 提供事業	地区公民館と中央公民館、また、地区公民館同士の連携調整を図り、公民館だより、月間事業予定、利用サークル、講師人材情報、教材・機材情報などの各種学習情報提供を効果的に行う。
3	公民館関係団体支援	学習相談、団体運営相談・指導・援助、各種情報提供、団体間交流促進など。
4	公民館関係資料調査 及び収集	学習情報の提供に資するための、各種資料の収集・整理を行う。社会教育課及び視聴覚センターと連携。
5	ホームページ等の作成	教育委員会ホームページ上でのブログの作成、春日部市ホームページ上の情報の更新など



№	事業名	発行日	発行部数	名 称	内 容
6	各種公民館関係資料の作成・発行	7 / 1	1 2 0 部 ホームページ掲載	令和3年度 春日部市の公民館 (令和3年度事業計画・ 令和2年度事業のまとめ)	事業計画・事業報告・利用状況など
		6 / 1	2 部 ×16 館 ホームページ掲載	令和3年度 春日部市公民館利用団体一覧	活動内容・公民館別 閲覧用・職員 内部資料用
		平成7年度	2000 部	春日部市民戦争体験記「語り継ぐ平和への想い」の頒布	中央公民館で7冊頒布

№	事業名	期 日	回数	対象・人員	内容 (テーマ)	特 記
7	新任職員研修会	4 / 8・9	2	新任職員	公民館について・予約システムについて・予算執行について	
8	公民館長会議	月1回	1 2	公民館長	公民館運営に関する 情報交換、研究協議、 連絡調整	
9	公民館職員会議	月1回	1 2	関係職員	情報交換・実務研修 ・貸館基準、著作権 ・実践事例報告 ・情報の共有化 ・フェスティバル 企画 など	運営委員会 設置
10	各種プロジェクト	随時		担当職員	・公民館検討委員会	検討委員会委員
					・公民館合同フェスティバルの検討	職員会議プロジェクト企画担当

11	修繕班	随時		担当職員	各公民館の軽易な修繕作業	
----	-----	----	--	------	--------------	--

№	事業名	期日	対象・人員	内容（テーマ）	特記
12	担当者専門研修会派遣	4/16	職員1名	令和3年度埼玉県公民館連絡協議会第1回理事会	行田市

事業名	音楽鑑賞会 ① 矢島彩ヴァイオリンソロリサイタル ② 石川隆一 JAZZ LIVE !		対象	一般		定員	各175	
ねらい	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし、地元での活動推進と、郷土意識の高揚をめざす。							
協力機関及び団体	春日部市民劇団かざぐるま P Aサークル プラグド		特色 位置づけ	春日部ゆかりのメンバーによる演奏		SDGs の目標No	4・11	
会場	中央公民館 講堂 控室 大会議室・多機能学習室など		教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	① 4月 出演者交渉 6月1日(火) 公民館だより・広報かすかべ6月号発行 6月12日(土) 整理券配布開始		P R 方法	公民館だより6・10月号 ポスター掲示 広報かすかべ6・10月号				
	② 4月 出演者交渉 10月1日(金) 公民館だより・広報かすかべ10月号発行 10月9日(土) 整理券配布開始		受付方法	中央公民館で整理券配布 当日は整理券を持った人から先着順に入場				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
7月11日(日)	14:00~16:00	矢島彩ヴァイオリン ソロ リサイタル	鑑賞	59	116	175	ヴァイオリン 矢島 彩 ピアノ 須関 裕子	
11月6日(土)	14:00~16:00	石川隆一 JAZZ LIVE !	鑑賞	58	117	175	ベース 石川隆一 ピアノ 菊池太光 ドラムス 西村匠平	
2回	4時間			117	233	350		
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス対策を充分に取った。 ・地元出身の演奏者であることを強調し、郷土意識の向上を促した。また、照明を劇団かざぐるまに。②では音響をP Aサークルプラグドにも依頼し、市民を巻き込んだ手作りのコンサートとした。 ・「公民館」事業であることを出演者に理解していただき、聴衆者にも伝えてもらうようお願いした。 ・講堂を利用した、本格的コンサートとなるよう、演出に工夫を凝らした。							
成果参加者の声など	① ・忙しい中の生活にコロナの不安もあり、心が沈んでいましたが、本当にありがとうございました。 ・今回のようなクラシック(本物の)が希望です。 ・クラシックは敷居の高い、聴く機会が少ないものですが、知っている曲と題名が一致し、とても楽しい時間を過ごせました。企画、会場等大変だったと思います。ありがとうございました。 ② ・コロナ禍、久しぶりの至福の時間でした。心が豊かになったひと時です。 ・本当に、気楽に楽しめ、良かったです。会場全体、皆様も明るい気持ちになれ、いい空間、時間でした。 ・3人のアドリブがとても楽しかったです。3人のアイコンタクトに癒されました ・友達と楽しむことの大切さを感じました。							
課題と展望	・春日部にゆかりの有る出演者であることにこだわっているが、それを無くしてしまうと、ただの提供事業となってしまう。公民館事業であるから、郷土色を出すことに細心したが、演奏者を探すための情報収集は引き続き必要である。							

事業名 テーマ	自然観察会 (① 植物 ② 野鳥 ③ 星空)		対 象	① ② 子ども～一般 ③ 小学3年～中学生		定 員	① 30名 ② 50名 ③ 20名	
ね ら い	植物、星空、野鳥の観察をとおして自然の大切さを学び、環境について考える。							
協力機関 及び団体	① ② 埼玉県生態系保護協会春日部支部		特 色 位置づけ	① ② 土曜日開催 ③ 小学生は保護者同伴		SDGs の目 標No	4・11・15	
会 場	① 内牧公園周辺 ② 庄和総合公園周辺 ③ 中央公民館ギャラリー・屋上		教 材 資 料 等	① 春日部市の自然環境 ① ② 写真 ③ レジュメ、星座早見盤、プロジェクター、天体望遠鏡				
実施までの経過	① 1月8日講師折衝 2月1日公民館だより3月1日広報かすかべ 3月10日受付開始 ② 4月24日講師折衝 4月1日公民館だより5月1日広報かすかべ 5月1日受付開始 ③ 5月14日指導者交渉 6月1日公民館だより 7月1日広報かすかべ		PR方法	広報かすかべ 3・7・1月号 公民館だより 2・6・12月号				
			受付方法	各受付開始日より、① ② 直接または電話、③ 電話で申し込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月10日(土)	9:30～12:00	内牧公園内周辺の植物観察	観察	11	14	25	埼玉県生態系保護協会春日部支部の方々	
5月22日(土)	9:30～11:30	古利根公園橋周辺の野鳥観察	観察	13	10	23	埼玉県生態系保護協会春日部支部の方々	
7月30日(金)	18:00～20:00	中央公民館での星空観察会	講義鑑賞	7 (保護者含む)	16	23	長谷川 清一	
								
3回	6時間30分			31	40	71		
企画運営上の工夫	① この時期に観察できる植物のリストを配布し、観察に役立ててもらった。 ② 子供から一般まで、より多くの人に参加してもらうため、土曜日に開催する。 ③ 宇宙展と同時開催で夏の夜空を観察し宇宙や天体について関心と理解を深めた。							
成果参加者の声など	① 事前に内牧公園を下見して、季節的にどのような種類の植物があるか確認したことで、資料作りにも反映でき参加者に喜ばれた。 ② 曇天であったが数十種類の野鳥を観察することができた。 ③ 星座の名前や宇宙(星)のことを解説つきで分かりやすかった。北斗七星や北極星の見つけかたがわかってよかった。							
課題と展望	① 毎回生態系保護協会に講師をお願いしておりマンネリ化に思われがちであるが、参加者のほとんどが初めてであった。お互いに知らない参加者同士でのコミュニケーションもとれ、公民館の役割としても良好な事業である。 ② 庄和総合公園内であったため公園内を、安全に鳥を観察できる環境だったので、参加者の満足度も高かった。 ③ 時期については、猛暑の中での屋上準備、日の入りが遅いので観察時間が短いという短所もある。望遠鏡の整備や扱いなど、機材、スタッフ側の課題もある。							

事業名 テーマ	かすかべライブフェスタ2021		対象	出演バンド：市 内で活動してい るバンド 観客：成人一般		定員	6組 175名	
ねらい	市内で活動しているバンドに、活動の成果を発表する場を提供すると共にバン ドの相互交流の場を設けることにより、市民の芸術、文化活動の発展に寄与す る。							
協力機関 及び団体	【音響協力】 P Aサークルプラグ ド、音響操作セミナー参加スタッフ		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	プログラム				
実施ま での経過	7月 1日(木)	広報かすかべ7月号発行	P R 方法	広報かすかべ7月号、公民館だより8月号、ポスター				
	8月 1日(日)	公民館だより8月号発行						
	7月25日(日)	出演バンド受付開始	受付方法	出演バンド：7月25日（日）から中 央公民館窓口に参加申込書・プラン ニングリストを提出。 観覧者：当日、受付で入場票を記入				
	8月20日(金)	延期決定・連絡						
	12月1日(水)	公民館だより12月号発行						
	12月4日(土)	実行委員会開催						
	12月8日(水)	ポスター掲示開始						
	12月25日(土)	前日準備						
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
				合計	合計	合計		
12月26日(日)	9：00～12：00 12：30 13：00 16：00 16：00～16：40 16：40～16：45	リハーサル 開場 開演 終演 後片付け 反省会	鑑賞	64	42	106	【出演順】 Tinker Bell Acby Weed-X Fish & Chips 夕焼けカムパニーFromB 水炊き 出演団体全員(フィナーレ) 【音響協力】 P Aサークルプラグド 音響操作セミナー参加スタッフ	
1回	7時間45分			64	42	106		
企画運営 上の工夫	・新型コロナウイルス感染予防のため、9月の予定を12月に延期しての開催。 ・出演バンドで実行委員会を組織し、当日の進行等についての協議、前日準備への協 力、当日の照明操作等を各バンドに行ってもらうことでバンド同士がより深く関われる ようにした。 ・全員参加のフィナーレをしっかりと行えるよう、打ち合わせと協力依頼をした。 ・新型コロナウイルスの感染対策として、㊦ 入場時に検温と手指の消毒、㊦ 入場票によ る来場者の把握、㊦ 客席は一席ごとの空席を設ける、㊦ 客席最前列を着席不可とし、演 奏者との距離を5m以上取った。							
成果 参加者の 声など	・来場者アンケートでは、内容について「皆さん一生けん命で楽しそうにやっているの でつられてマスクの中で笑顔になれた。」「今まで知りませんでした、とても楽し かったのでまた来たいと思いました。」など、昭和歌謡からロックまで音楽のジャンル が多彩で好みが分かれるところだが、満足度は高い感想であった。 ・コロナ禍にライブイベントができたこと自体がうれしいとの声が多かった。定員も半 分の175人にし、席も事前に間引いていたため、安心して鑑賞できたとの声もあった。							
課題と 展望	・幅広い世代による多彩なジャンルのライブ構成となり、来場者の年代も様々。会場を 飽きさせなかった。また、出演者は音楽活動を通じて世代間の交流が図れていた。 ・以前より出演団体数を増やしてほしいとの要望もあり、今回は4団体から6団体に増や しての実施となったが、各団体スムーズな進行に協力していただき、リハーサルから本 番終了までほとんど遅滞なく進行することができた。 ・出演バンドが固定化してきた。新たなバンド、特に若年層のバンド発掘に努めたい。 ・一方、常連バンド同士及び公民館との交流も深まり、今後の展開に期待も持てる状況 になってきている。							

事業名 テーマ	音響操作セミナー		対 象	青少年～成人		定員	10人	
ね ら い	中央公民館の機材を使い、音響操作を行うことで、参加者に音響の知識を深めてもらおうとともに、操作を体験することで、参加者が自主的に音響操作を行ってみたいと関心を持ってもらうことを目的としている。また、今後の公民館主催事業などで、ボランティアとして、音響操作の協力を仰ぐことも目的としている。							
協力機関 及び団体	P Aサークルプラグド		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4・11	
会 場	中央公民館 講堂		教 材 資 料 等					
実施までの経過	4～5月 講師折衝 8月 1日(日) 公民館だより 8月号発行 広報かすかべ発行 8月 1日(日) 受付開始		P R 方法	公民館だより8月号、広報かすかべ8月号				
			受付方法	8月1日（日）から直接または電話で中央公民館に申し込み				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
9月11日（土）	9：00～17：00	1 日目 音響機器について（講義） 音響機器について（実技）	講義 実技	6	0	6	P Aサークルプラグド 中村 純子	
9月12日（日）	9：00～17：00	2 日目 音響機器のセッティング （実技） 模擬演奏セッティング 模擬演奏会 片付け・反省会		4	0	4		
1 回(2日間)	1 6 時間			10	0	10		
企画運営上の工夫	・ここ数年は「かすかべライブフェスタ」と同時開催をしていたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ライブフェスタが延期となったため、音響機器についての学習のための時間を充分に取ることにした。 ・模擬演奏者は「ライブフェスタ」出演者と重ならないよう、探したが調整がつかず、今年は職員が務めることにした。 ・受講生には実践の場として、令和3年12月に延期とした「かすかべライブフェスタ2021」にスタッフとして参加することを勧めるなど、継続した学習を促した。 ・中央公民館の新任職員のOJTの場としても位置付けた。							
成 果 参加者の声など	・参加者アンケートでは、全員の方が「また参加したい」と答えており、継続した学習意欲を持っていただくことができた。 ・「なんだか感動しました。是非又、と思っています。」等の声も聴かれた。							
課題と展望	・毎年同時期で、先の日程で開催している豊春第二公民館の「P Aセミナー」受講者が、その続きとして参加するというケースも多く、指導者も同じであることから、両館で実施状況や資料等の共有・連携があると良いと考える。 ・今回は参加人数が5名だった。来年度以降、音響に興味のある人などを対象に、広報等で周知したい。 ・模擬演奏者は、過去には公募したこともあったが、あくまで講習会の中での演奏なので、今後も趣旨を理解した融通の利く演奏者が望ましい。							





事業名 テーマ	講堂機器操作説明会		対象	公民館（講堂） 利用団体	定員	なし	
ねらい	中央公民館の講堂をコンサート・音楽会・講演等で利用するのに必要となる会場設営や照明・音響装置の基本操作方法を習得し、利用団体が当日円滑に舞台運営ができることを目的とする。						
協力機関 及び団体			特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11	
会場	中央公民館講堂		教材 資料等	機器説明資料			
実施までの 予定			P R 方法	講堂申込時に予定表を配布し周知			
			受付方法	電話または直接中央公民館へ事前申し込み			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	氏 名
5月14日（金）	9：00～12：00	第1回	講習 実技	0	4	4	公民館事業担当職員
7月10日（土）	9：00～12：00	第2回		0	0	0	
9月3日（金）	9：00～12：00	第3回		7	0	7	
11月13日（土）	9：00～12：00	第4回		0	0	0	
1月14日（金）	9：00～12：00	第5回		0	0	0	
3月12日（土）	9：00～12：00	第6回		0	0	0	
2回	6時間			7	4	11	
企画運営上の工夫	以前は利用団体ごとにその都度機器操作説明を実施していたが、平成23年度から年6回、2か月に1回の割合で機器操作説明を実施し、いずれかの日程に利用団体が参加することにより説明会の効率化を図った。 使用日6カ月前の講堂予約申請受付時に催物概要書とともに日程を示し、操作に不安がある方には参加していただくよう、案内した。 できるだけ都合をつけやすいように、金曜日と土曜日に開催した。 中央公民館の新任職員には始めのうち、OJTの一環として参加させる。						
成果 参加者の 声など	『実際に音響や照明機器を触ってみて、わかりやすかった。』『説明会から実際に使用するまでに間があり忘れてしまう。』などの声があったが、多くの方が会場設営や照明・音響装置の基本操作方法を習得したと思われる。 新型コロナの影響で、講堂を利用する大きなイベントの多くが中止になったため、当事業への参加者は少なかった。						
課題と展望	講堂の音響や照明を使用した経験があっても次に使用するまでに期間が経ってしまい操作方法を忘れてしまっている場合が多い。利用団体が催物を円滑に運営ができるようにするためには、その都度研修を受けていただく必要があり、支援していく必要がある。						

事業名 テーマ	第7回 春日部市 障がい者作品展 (第5回共に生きよう！フェスティバル)		対象	成人一般		定員	なし	
ねらい	普段交流する機会の少ない市内の障がい者同士が、美術、工芸などの作品の展示、鑑賞を通じて交流することにより、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。							
協力機関 及び団体	共催 春日部市(障がい者支援課) 協力 県立久喜図書館 今仙技術研究所		特色 位置づけ	障害者週間期間 中の開催		SDGs の目 標No	4・10・11	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等					
実施ま での経 過	7月 2日 担当者打合せ 10月 1日 広報かすかべ・公民館だより10月号 (作品募集) 10月 7日 作品募集受付開始 10月28日 ポスター配布 11月 1日 広報かすかべ11月号(開催案内) 11月 5日 作品応募締切 11月18日 参加者打ち合わせ会 11月30日 作品搬入 12月 1日 公民館だより12月号(開催案内) 12月 7日 作品搬出		PR方法	作品公募 公民館だより10月号 広報かすかべ10月号 市内全事業所、昨年参加の 個人にDM 展示会開催 ポスター 公民館だより12月号				
			受付方法	出品応募 応募用紙は各公民館、障がい者支援課 で配布 受付は中央公民館、障がい者支援課で 展示会見学 直接中央公民館へ				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
11月30日(火)	9:00～12:00	作品搬入	展示				ヘルマン・ハーブ 「風の音」 「虹色」 落語家 三遊亭鬼丸 大道芸人めぐ	
11月30日(火)	13:00～17:00	一般公開		35	29	64		
12月 1日(水)	9:00～17:00	一般公開		36	42	78		
12月 2日(木)	9:00～17:00	一般公開		40	77	117		
12月 3日(金)	9:00～17:00	一般公開		35	45	80		
12月 4日(土)	9:00～17:00	一般公開		73	111	184		
12月 4日(土)	14:00～15:30	講演会「落語で春日部を明るく」		88	110	198		
12月 5日(日)	9:00～16:00	一般公開		50	89	139		
12月 5日(日)	16:00～17:00	作品搬出						
12月 7日(火)	9:00～12:00	作品搬出						
全7日間	50時間			357	503	860		
企画運営上 の工夫	・例年どおり、今回も「共に生きようフェスティバル」の展示の部として開催した。 ・一般公募するほか、市内の障害者施設、団体及び昨年出品の個人にもDMを送って出品依頼をした。 ・希望する団体には会場内で手作り品の販売も可能とした。 ・会場内で、障がい者でも弾くことが可能な「ヘルマン・ハーブ」の演奏を2回開催し、演奏体験も行った。 また、目の不自由なお二人「虹色」によるミニコンサート、自ら障害を持つ大道芸人「めぐ」さんの南京玉簾の公演も行った。 ・障がい者支援職員と、中央公民館職員で受付の分担をした。 ・東京パラリンピックの開催後であるため、スポーツ義足の展示も行った。 ・密集・密接を避ける、手指の消毒、検温、入場票の記入依頼など、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮した運営を行う。							
成果 参加者の 声など	＜アンケートより＞ ・子ども二人が別々のデイサービスに通っていて二人の作品を毎年見ることができ、成長を感じる1年1年。作業所さんと、販売中、お話しできるので将来の参考になります。この作品展続けてほしいです。 ・いつも個人の作品を飾って頂きありがとうございます。又、皆さんに見てもらえるご縁を頂き、ありがとうございました。感謝いたします。 ・コロナの中の開催ありがとうございます。みんなのがんばっている姿がはげみになります。 ・皆さんの力のこもった作品を見学させて頂きました。とてもよかったです。とてもきれいに展示されていて見やすかったです。 ・「世に知られていない障がいもあるんだなあ」と感心しました。しかし、100%中8%が字の読み書きができない、ということば友達の中にもいるかもな と思いました。							
課題と展望	・事前にスペースの確認をしたことにより、各団体ごとにほぼ隙間なく展示することができた。 ・手作り品の販売について、施設職員がいる時間以外に購入できないため、販売時間の拡充を当該施設と調整する必要がある。 ・販売時間についてポスターに刷り込む時間的余裕がなかったので、今後の課題としたい							

中央公民館 8

事業名 テーマ	中央公民館利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい	対象	公民館利用者及び 利用予定者	定員	なし		
ねらい	利用者同士の交流の場とし、公民館とともに公民館のより良い運営を模索するものとする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	中央公民館 大会議室	教材 資料等	公民館利用のてびき 利用者会議資料 公民館へのご意見・ご要望 春日部市公民館利用団体票				
実施までの経過	12月1日 公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布 館内ポスター掲示	PR方法	公民館だより12月号掲載 館内にポスターを掲示 窓口でチラシを配布				
		受付方法	直接会場へ(自由来館)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者	講師・助言者の職名 氏 名		
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月29日(土)	10:00～11:30 11:30～12:00	利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい 新型コロナウイルス感染 防止緊急事態宣言中と なったため、延期、及び 中止とした	協議			0	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	利用者協議会では、公民館と利用者、利用者同士の交流を深めるための時間をたっぷりとることとする。 特殊な設備である陶芸窯の利用者のみの会議も設定し、陶芸窯や保管庫の使用や申し込み方法等について周知の徹底を図る。						
成果 参加者の 声 など							
課題と展望							

事業名 テーマ	令和3年度第22回 春日部市16公民館合同フェスティバル		対 象	一般	定員	なし	
ね ら い	公民館利用者の学習成果発表の場を提供するとともに、市民主体の生涯学習を一層推進し、また地域文化の向上を目指して開催する。市内公民館利用者が中央公民館に一堂に会して、活動成果の発表、活動紹介、学習機会提供の場とするとともに、市民相互の交流の機会を設ける。						
協力機関 及び団体	春日部市民劇団 かざぐるま P Aサークル プラグド		特 色 位置づけ	実行委員会形式 市内16公民館に よる共催 公民館職員会議 によるプロジェ クト企画	SDGsの 目標No	4・11	
会 場	春日部市中央公民館		教 材 資料等	(各プログラムにより異なる)			
実施ま での 経 過	6月～1月	職員会議プロジェクトに よる検討(計14回)	P R 方法 (予定)	公民館だより10・2月号 ポスター 広報かすかべ11・2月号			
	10月1日(金)	公民館だより10月号 (参加団体募集案内)					
	11月12日(金) ～12月3日	参加申込書配布 参加申込受付	受付方法	直接来館			
	12月25日(土) 1月21日(金)	第1回 実行委員会 新型コロナウイルス感染拡大 に伴うまん延防止等重点措 置発令を受け、中止を決定					
	2月1日(火)	原稿締切等の都合、公民館 だより、広報かすかべ2月号 には開催周知記事を掲載					
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数		合計	合計			
2月26日(土) 2月27日(日) 3月5日(土) 3月6日(日)	10:00~16:00 10:00~16:00 10:00~16:00 10:00~16:00	・ステージ部門・展示部門 ・ステージ部門・展示部門 ・ステージ部門 ・ステージ部門	発表 発表 体験 頒布	新型コロナウイルスの感染拡大 防止のため全日 程(4日間)中止			舞台照明:春日部市 民劇団 かざぐるま 舞台音響:PAサーク ルプラグド
0 回	0 時間			0	0	0	
企画運営 上の工夫	職員会議プロジェクト企画担当会議を開催し、新型コロナウイルス対策を徹底した運営方法及びプログラムの検討を行う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、入場者の把握や、密にならないよう十分に工夫する。実施に際しては、参加団体から実行委員を選出してもらい実行委員会形式とする。						
成果 参加者 の声など	計14回に及ぶ職員会議プロジェクト会議の開催及び第1回実行委員会の実施を経て、入念な準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、あえなく事業自体が中止となってしまった。そのため、成果・効果については検証できないが、次回以降の開催に活用できるだけのコロナ対策を構築することができた。						
課題と展望	参加団体から選出された実行委員による実行委員会を組織する方法をとり、第1回目の実行委員会を円滑に実施できたことが、次年度以降に生かせる成果といえる。このほか年間を通じて検討した、出演(出展)者・観覧者の動線確保や、演目の間隔(換気、消毒)などのコロナ対策を改めて再考することで、次年度は円滑な実施が期待できる。						


事業名 テーマ	企画展示会 カスリーン台風水害写真展		対 象	一般		定員	なし
ね ら い	過去の災害の実情を知るとともに春日部市での災害対策意識の向上に資する。						
協力機関 及び団体	協力 国土交通省関東地方整備局 利根川 上流河川事務所 埼玉県防災学習センターそなえ 春日部市郷土資料館 春日部市防災対策課		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11・ 13
会 場	中央公民館 ギャラリー		教 材 等 資 料	カスリーン台風被害状況写真パネル 2017・2018水害写真パネル 防災学習ビデオ 春日部市におけるカスリーン台風被害 写真パネル(自作)			
実施ま での経 過	12月 各施設等と打ち合わせ 1月～ 自作展示物作成 6月9日(水) 写真パネル借用 6月12日(土) 展示 6月15日(火)～20日(日) 写真展実施 6月20日(日) 搬出 6月23日(水) 資料返却		P R 方法	各地区公民館だより 6月号 広報かすかべ 6月号 ポスター(公共施設等)			
			受付方法	当日会場受付			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月15日(火)	13:00～17:00		展示 鑑賞	17	11	28	
6月16日(水)	9:00～17:00			23	13	36	
6月17日(木)	9:00～17:00			14	9	23	
6月18日(金)	9:00～17:00			17	12	29	
6月19日(土)	9:00～17:00			19	13	32	
6月20日(日)	9:00～16:00			51	23	74	
	10:00～12:00	我が家の浸水診断	実習	(10組)			春日部市防災対策課 山本 夏聖氏
	13:00～16:00	HUG訓練	実習	(6)	(1)	(7)	
1回 (6日間)	33時間			141	81	222	
企画運営 上の工夫	ギャラリー施設を活用した公民館主催企画展。時節に合わせて市民の関心の高い題材とする。毎年3月の東日本大震災の日の前後に、防災意識を高めるための展示会を行っていたが、今回は実際に春日部市でも過去に甚大な被害を被った「水害」をテーマにした写真展とした。前年度3月に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令中であつたため延期とし、本年度同時期まで待たずに、できるだけ早い時期に開催しようと企画したもの。水害に関する資料を収蔵している所から無料で資料提供を受けた。また、郷土資料館収蔵の資料から春日部市関連の記述部分と写真を拡大して展示物を作成し、春日部市内での当時の様子を知ることができる展示会とした。当時と現在の様子を対比できる写真も用意し、実感を持って鑑賞できるよう工夫した。最終日には春日部市防災対策課の職員による、インターネットを利用した「我が家の浸水診断」コーナーと、市内に住む防災士を講師に迎え、避難所運営ゲーム(HUG)を行い、市民の防災、減災意識を醸成するための事業とした。						
成 果 参加者の 声 など	アンケートには、「改めて災害の大変さを感じました。今後の教訓にしたいと思います。」・「よくまとめられており、頭の中で整理されました。近年の水害も改めてついこの間あつたと。診断もしていただき、しっかりと防災の意識を身につけさせていただきました。出かけてきてよかったと感じています。感謝!!」・「HUG訓練は今後も受講し参考にしたい」等の声が寄せられた。						
課題と展望	これまで、展示物を無料提供していただける物だけを借用して行ってきた。今年は自作の展示物も作成したが、メインとなる資料貸出先の情報収集は引き続き必要である。						

事業名 テーマ	さくらまつり	対象	一般	定員	なし		
ねらい	八木崎公園の桜が咲く時期に、近隣町会と公民館利用サークルの協力のもと、お花見を開催し、利用者同士と地域住民との親睦を深めるとともに、つどいの場としての公民館の役割を再認識してもらうことを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4・11		
会場		教材 資料等					
実施までの経過	準備期間中が新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言中であったため、中止とした。	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
3月27日(日)		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 不特定多数の者が集まる行事であり、参加者の把握ができないことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした </div>					
0回	0時間			0	0		0
企画運営上の工夫							
成果参加者の声など							
課題と展望							

事業名 テーマ	企画展示会／科学館巡回展 「カッシーニ あかつき はやぶさ2～惑星探査の最新情報～」		対象	一般	定員	なし	
ねらい	子どもたちの夏休み期間中を利用して、科学への興味を喚起します。						
協力機関 及び団体	協力:全国科学館連携協議会		特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4・11	
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	パネル提供:宇宙航空研究開発機構(JAXA)			
実施までの経過	4月中旬 借用申請書の送付 6/1(火) パネルデータ受け取り プリント 7/24(土) 搬入・展示準備 8/1(日) 展示終了 搬出		PR方法	各地区公民館だより6月号 広報かすかべ7月号 ポスター			
			受付方法	窓口で入場表記入			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
7月27日(火)	13:00～17:00	一般公開開始	展示	3	2	5	
7月28日(水)	9:00～17:00	一般公開		16	0	16	
7月29日(木)	9:00～17:00	一般公開		8	3	11	
7月30日(金)	9:00～17:00	一般公開		18	15	33	
7月31日(土)	9:00～17:00	一般公開		15	9	24	
8月1日(日)	9:00～16:00	一般公開 搬出		17	25	42	
全6日間	43時間			77	54	131	
企画運営上の工夫	ギャラリーを使った公民館主催の企画展である。全国科学館連携協議会より提供された展示物の中から市民の関心があるあるようなものを選んで借入し、展示する。 パネル枚数の関係から、「62の『月』が織りなす多彩な世界」(4枚)、「金星探査機『あかつき』」(9枚)、「こちら『はやぶさ2』運用室漫画版」(41枚)、「星の衝突で何ができた?」(3枚)の4セットを借用した。 全てデータで提供していただくこととし、当館でプリントしたことにより、返却に係る費用はかからず、ゼロ予算とすることができた。 また、相乗効果を高めるために、展示期間内に星空観察会を実施した。 ポスターにて、展示内容に詳しいボランティア解説員を募集した。						
参加者の声など	・今まで意識していなかったジャンルなので、見ていて面白かったです。 ・ビデオ映画も見られると満足です。 ・映像資料の上映、関係者による講演があると尚更よかった。 ・展示が地味。 ・実物の模型を展示して欲しい。 ・随時観測結果を報告してほしい。						
課題と展望	・「はやぶさ2」に関しては、帰還後の情報も含めた展示物を引き続き作成してほしい。 ・全国科学館連携協議会に加盟して5年目となり、「巡回展示会」の利用もしつづいた感がある。次年度どのような展示物が選択肢として新たに提示されるかに期待せざるを得ない。 ・パネルだけではなく、何か関連のある短いビデオ上映コーナーを併設できればよかったが、適当なビデオがなかったことも事実。 ・期間中に同時開催した「星空観察会」との相乗効果は果たせたと考えている。 ・展示内容が比較的難しいため内容に詳しいボランティアスタッフを確保できればよかった。						

事業名 テーマ	キッズフェスティバル		対象	小学生まで・親子		定員	80組	
ねらい	ものづくりの場を提供するとともに、幅広い年齢間の交流を図り、社会性や感性を育む。また、8月より実施している「年少リーダー研修会」のプログラムとして位置付け、年少リーダーメンバーを中心に、事業運営や地域活動を体験する場とし、一つの事業を作り上げる機会を提供する。併せて、公民館利用者等に協力を仰ぎ、公民館活動の成果を還元する機会とする。							
協力機関 及び団体	協力:春日部市子ども会育成連絡協議会、中央公民館利用サークルほか		特色 位置づけ	冬休み開催 年少リーダー研修会 事後研修		SDGsの目 標No	4・11	
会場	中央公民館 講堂		教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施までの経過	10月～11月 講師折衝 12月1日(水) 広報かすかべ、公民館だより12月号掲載 12月4日(土) 参加申込み受付開始 12月5日(日) 第1回準備(年少リーダー研修会) 12月18日(土) 第2回準備(年少リーダー研修会) 1月8日(土) 前日準備		PR方法	公民館だより12月号 広報かすかべ12月号				
			受付方法	電話または直接窓口にて事前申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
1月9日(日)	13:00～13:15 13:15～15:45 15:45～16:00	・オープニング (開会あいさつ、ピアノ連弾、合唱) ・年少リーダーによる企画 「遊びの広場」 ・公民館企画 「ふわふわ粘土制作体験」 「足つぽマットに乗っちゃおう」 「裂織(さきおり)に挑戦」 「卓球バレーをやってみよう」 ・エンディング(合唱)	鑑賞 体験 鑑賞	55 55	85 85	140 140	年少リーダー 学生ボランティア (市立看護専門学校・文教大学) 春日部市子ども会 育成連絡協議会 香山 誠司 氏 松崎 純子 氏 手織りサークル 茜 身体障害者福祉会 卓球バレー部 年少リーダー 学生ボランティア	
1回	3時間							
企画運営上の工夫	年少リーダー研修会のプログラムの一環に位置づけ、参加者の子どもたちが運営スタッフとしてブースを担当することとした。その際、複数の準備日程を設けて出し物の製作時間を確保した。また、様々な折り紙を製作し当日の「遊びの広場」ブースへの参加賞とした。年少リーダーの製作した内容は「ゴキブリハンター」、「ビー球転がしゲーム」、「覚えてるかな?福笑い」の3種。公民館利用サークルに協力を仰ぎ、当日の講師を依頼した。実施に際しては、新型コロナウイルス対策のための来場者把握、検温の実施を徹底した。							
成果 参加者の声 など	年少リーダー研修会開催日程のうち2日間を準備期間に充てたことで、ブースへの出し物を完成させ、万全の態勢で当日を迎えることができた。また、市立看護専門学生のボランティアや社会教育実習生(文教大学)の協力を得て、オープニング、エンディングなどを工夫して実施することができた。集客の目玉となった「ふわふわ粘土制作体験」をはじめ、各ブース、講師の好意的な協力体制を得て、盛況のうちに終了することができた。							
課題と展望	小学生よりも未就学児の参加が多かった。結果的には、未就学児も楽しめる内容で開催出来たが、対象を明確にする必要があると思われる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者1名に対し保護者同伴は、原則1名までと申込時に説明したが、子ども1名に対し同伴者2名(父母)での参加が散見された。							

事業名 テーマ	年少リーダー研修会		対 象	小学5・6年生		定 員	42名	
ね ら い	子どもたちが、様々な体験を通して、強く、たくましく生きる力をもつきっかけになり、地域で活動する青少年リーダーに育ててもらうことを目的とする。							
協力機関 及び団体	春日部市子ども会育成連絡協議会		特 色 位置づけ	地域ボランティアと青少年 の交流を推進 春日部市内での継続的な活 動のきっかけとする		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	中央公民館・各地区公民館		教 材 資料等	各種体験プログラムにより異なる				
実施まで の 経 過	7月 1日 広報かすかべ発行 7月24日 スタッフ打ち合わせ 7月末日 申し込み締切		P R 方法	広報かすかべ7月号				
			受付方法	7月1日(木)～31日(土)に中央公民館 へ電話またはメールで申込。				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名	
回 数	総時間数			男	女	合計	氏 名	
8月1日(日)	9:00～12:00	顔合わせ・レクリ エーション	実習	7	15	22	春日部市子ども会育成 連絡協議会	
9月5日(日)	9:00～12:00	焼き板制作、野外レクリ エーション (モルック)	実習	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止			職員(内牧地区公民館 赤坂 ほか)	
10月9日(土)	9:00～12:00	焼き板制作、野外レクリ エーション (モルック)	実習	5	15	20	同上	
11月20日(土)	9:00～12:00	避難所運営訓練「HUG」体験	実習	4	9	13	山本 夏聖 氏	
12月5日(日)	9:00～12:00	キッズフェスティバルの プログラムを考えよう①	実習	4	9	13	春日部市子ども会育成連絡協議 会、職員(中央公民館 大澤)	
12月18日(土)	13:00～16:00	キッズフェスティバルの プログラムを考えよう②	実習	4	10	14	春日部市子ども会育成連絡協議 会、職員(中央公民館 大澤)	
12月19日(日)	13:00～17:00	キッズフェスタinたけさと	実習	6	6	12	武里地区公民館職員 ほか	
1月8日(土)	14:00～17:00	キッズフェスティバル準備	実習	5	9	14	春日部市子ども会育成連絡協議 会、職員(中央公民館 大澤)	
1月9日(日)	12:00～16:00	キッズフェスティバル本番	実習	5	12	17	公民館利用サークル ほか	
2月13日(日)	12:00～16:00	Showaきつずびあ	実習	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止			庄和地区公民館職員 ほか	
3月20日(日)	16:15～17:00	年少リーダー研修会ま とめ(閉講式)	実習				春日部市子ども会育成連絡協議 会、職員(中央公民館 大澤ほか)	
8 回	2 6 時間			40	85	125		
企画運営 上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらプログラムを 実施し、市内で活躍できる場を創造する。企画については協 力団体と連携を図りつつ、社会教育主事等の職員を中心に検 討し各回のプログラムについて決定する。かつ、昨年までの 参加者 (OB、OGの中高生を含む) が引き続き市内で活動 できる場を提供するとともに、中央公民館以外の各地区公民 館事業への受入れを依頼し活躍の場を広げる。							
成 果 参加者の 声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き福島県での宿泊研修を実施 することができなかった。また、令和2年度と同様に参加者数が少なかった。しかし、 中央公民館を中心に実施した野外レクリエーションや、キッズフェスティバルの準備・ 運営などを通じ一体感が生まれ、学校や学年の枠を越えて親交を深めることができた。							
課題と展望	事後研修等で、各地区事業に関わる機会を得たいところであったが、限られた地区のみ での活動にとどまった。また、令和3年度のように、メインとなる宿泊事業が実施でき ないケースが今後も想定される。その場合に市内でどのような活動をしていくか、実施 できるプログラムを複数備えておく必要がある。また、県内青少年施設 (元気プラザ 等) を会場にした内容なども検討しておきたい。							

事業名 テーマ	教養講座 ①「しめ縄づくり」 ②「知って・体験！避難所運営(HUG体験)」		対 象	一般	定員	15名	
ね ら い	普段公民館に足を運ばない人も興味をもって参加いただける内容の事業を企画することで、公民館に興味を持ってもらい、参加促進を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ		SDGsの 目標No	4・11	
会 場	中央公民館 ① ギャラリー ② 大会議室		教 材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備			
実施までの経過	① 10月 12月1日(水)	講師折衝・打ち合わせ 公民館だより12月号	P R 方法	① 公民館だより「桐のまち」12月号 ② 公民館だより「桐のまち」2月号			
	② 1月 2月1日(火)	講師折衝・打ち合わせ 公民館だより2月号	受付方法	中央公民館へ直接もしくは電話で。			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
12月17日(金)	13:30～15:30	「しめ縄づくり」 	実習	6	9	15	郷土資料館 館長 實松 幸男
3月20日(日)	13:00～16:00	「知って・体験！避難所運営(HUG体験)」 <div>新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止</div>					山本 夏聖
1 回	2 時間			6	9	15	
企画運営上の工夫	① ・ 普段公民館に足を運ばない人も興味をもって参加いただける内容の事業を企画することで、公民館に興味を持ってもらい、参加促進を図る。 ・ 昨年度実施で好評だったため継続。定期的に開催することで、恒例行事として参加者のつながりを図り、文化の定着を図る。 ・ 新型コロナウイルス感染防止のため人数を絞っての開催 ・ 検温、手指消毒アルコール等による感染防止策の徹底 ② ・ 令和3年度に同内容の体験をしたことのある年少リーダー研修会の参加者にも参加してもらうことで、地域で活躍する機会の一環とする。						
成 果 参加者の声など	① ・ 縄ないが難しかった。 ・ 先生&スタッフの方々、親切な指導ありがとうございました。各地区の公民館でも開催して欲しいと思います。 ・ 講師の方をはじめ、スタッフの皆さんが丁寧に教えてくださり良かったです。						
課題と展望	① ・ しめ縄を作るのに個人個人で進みに差が出てしまい、時間の調整が難しかった。 ・ 作り方が少し複雑なため、一度の説明でわからない人が多かった。少人数だったので、一人ひとり丁寧に作り方を教えることで全員なんとか完成させることができたが、大人数での開催は少し難しそうと思った。 ② ・ HUG訓練は、多くの方にぜひ一度は体験していただきたいものである。 ・ 今回は中止となったが、年少リーダー研修会に参加した子どもたちの活躍の場のひとつとして今後も継続していきたい。						

事業名 テーマ	サークル体験月間	対 象	一般	定員	なし	
ね ら い	中央公民館のサークル活動の促進と利用の活発化を目指す。					
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル	特 色 位置づけ	サークル との連携	SDGsの 目標No	4・11	
会 場	中央公民館 粕壁南公民館	教 材 資料等	教材等は、サークルで準備			
実施ま での 予 定	4月1日（木）公民館だより 4月号 4月2日（金）サークル申込み開始 5月16日（日）サークル申込み終了 6月1日（火）公民館だより 6月号	P R 方法	公民館だより 4・6月号 ポスター・チラシ			
		受付方法	直接サークル活動の会場へ			
月 日（曜）	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	
6月8日（火）	10:00～11:30	各サークル活動の体験 （～7月11日（日）まで）	体験	14	36	各サークルの皆さん
7月17日（土）		活動報告会	会議	1	1	2
					38	
企画運営 上の工夫	・窓口でのやり取りから、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、サークルを退会する方が増加していることが伺える。一方で、「新しい活動をしたいが、既存のメンバーのなかに加わるのは不安」という声や「まずは活動を見てみたい」との声が多々ある。そのため、公式にサークル体験のできる機会を設けることで、双方をマッチングさせることを目的とする。併せて、公民館と各サークルの連携を図るきっかけとする。 ・各サークルとのやり取りを通じて、サークルと公民館との意見交換や公民館主催事業への協力を募るなど、公民館で活動する意味を問う機会とする。 ・当日の運営等については、各サークルに全面的な協力をいただく。 ・中央公民館の主な施策として「クラブ・サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る」とあり、この施策に則る。					
成 果 参加者の 声など	・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあってか、参加者数はさほど多くなかったものの、サークル体験に参加した方のうち、およそ3分の1の方が新たにサークルに入会した。 ・サークルに参加したい方のためであることはもちろん、公民館職員と各サークルが関わりを持てる貴重な機会でもあるため、毎年、実施期間を設け、継続して実施していきたい。					
課題と展望	報告会に参加いただけたサークル数は少なかったが、サークルへの新規会員の加入を喜ぶ声や、公民館主催事業等への協力的な意見も伺うことができた。公民館は利用者（サークル等）あってこそその施設であるため、貸館等のやりとりにおいても単なる窓口対応だけで終わらせず、各サークルとのつながりを念頭に置いて業務を行うよう、すべての職員が意識すべきところである。					

事業名 テーマ	第8回春日部市公民館研究大会		対象	一般		定員	なし	
ねらい	公民館全体のレベルアップを期して、社会教育や公民館の利用、運営について、全市の公民館利用者が一堂に会し、情報交換をするとともに、住民自治と公民館のあるべき姿を探る。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11	
会場	中央公民館 1階講堂		教材 資料等	中央公民館により作成				
実施までの 予定	6月～1月 職員会議プロジェクト企画 担当会議		PR方法	ポスター・チラシ				
			受付方法	メールもしくは直接窓口にて事前申込				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
		<div>令和3年度の開催は延期とし、令和4年度に万全を期して実施できるよう、内容について協議、検討を行うこととした。</div>						
0回	0時間							
企画運営 上の工夫	計14回の職員会議プロジェクト企画担当会議の中で実施内容の検討を行った。実施に際しては、直近2年度において計画していた内容を踏襲することも考えられたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業が実施できなかった場合でも、成果物の配布等をもって事業実施とすることができるような内容が望ましいとの見解に至った。そのため、令和3年度の開催は延期とし、令和4年度に万全を期して実施できるよう協議、検討を行うこととした。							
成果 参加者の 声など	令和3年度の開催は延期とし、令和4年度に万全を期して実施できるよう協議、検討を行うこととした。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、直近2年度において開催中止となっている。このことから、コロナの影響により開催できないことも想定した内容を検討した。その結果「私と公民館（仮称）」をテーマとした作文を募集し、次年度の公民館研究大会における発表や有識者による講評、意見交換などを実施するほか、寄せられた作文を文集化して配布することで、事業自体を中止にせざるを得ない場合でも、一定の成果を得られるようにすることとした。							
課題と展望								

事業名 テーマ	企画展示会 「SDGs クイズ ボード」巡回展示会		対 象	一般		定 員	なし	
ね ら い	春日部市で推進しているSDGsを市民への普及を進めるために、市内各地区公民館でパネル展示をすることにより、市民の意識向上を図る。							
協力機関 及び団体	協力：全国科学館連携協議会		特 色 位置づけ	全地区公民館と の共催事業		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	各公民館ロビー等		教 材 資料等					
実施ま での 経 過	前年度中 7/30	借用申請 パネル受取・中央公展示 開始	P R 方法	広報かすかべ8月号、ポスター、 メール 各地区公民館だより8月号、10月 号				
	11/17	宅配便にて次の会場へ 転送	受付方法	設けず				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
7/30(金)－ 8/19(木)	17日間	中央公民館展示	展示 鑑賞	ロビー展 示のため、観覧 者の正確 なカウン トはでき ず、展示 期間の館 全体の利 用者数と していま す。		1865	  	
8/24(火)－ 31(火)	7日間	粕壁南公民館展示				184		
9/4(土)－ 5(日)	2日間	庄和地区公民館展示				49		
9/9(木)－ 17(金)	8日間	豊春地区公民館展示				632		
9/19(日)－ 30(木)	9日間	豊野地区公民館展示				284		
10/2(土)－ 14(木)	11日間	武里大枝公民館展示				790		
10/16(土)－ 22(金)	6日間	内牧地区公民館展示				336		
10/24(日)－ 11/2(火)	8日間	武里地区公民館展示				814		
11/6(土)－ 14(日)	8日間	幸松地区公民館展示				881		
9 回	7 6 日間					5835		
企画運営 上の工夫	・全国科学館連携協議会からの資料借用。 SDGs普及のため、クイズ形式で17のターゲットを学ぶパネルを借用し、各地区 の公民館のロビー、イベント等で展示する。							
成 果 参加者の 声など	春日部市が「SDGs未来都市」に選定されていること、及びSDGsの考え方の浸透 を図ることができたと考えている。 見学者の声等は特に伺っていない。							
課題と展望	春日部市は国から「SDGs未来都市」に選定され、街をあげてその普及に努めて いる所である。公民館でもその一端を担うことができないかということで企画 した。 幸いに全地区の公民館の協力を得られ、市内全地区の公民館で展示会を開催す ることができた。公民館利用者にSDGs未来都市としての春日部市を十分に浸透 させることが出来たのではないかと考えている。 また、全地区の公民館が持ち回りで一つの事業を行うということで、職員間の 連携感を醸成できたのではないかと考えている。							